

■ 1班 課題1 多様な主体の意見把握・反映

アンケート

直接的な意見ではなく、小中学校に求めるもの（楽しみ）についてアンケートを取る

転校に対する考え、気持ち

子どもの意見・考えをアンケートで聞く

小学生は寂しいかも
大人が責任を持つ

発信方法

アンケート調査（事前）

将来の学校数をイメージできる
形での具体的説明
（税負担など）

同意見多数

体制

【事務局】
プランを作る人

公募委員のメンバー
に偏りがある

誰がいつ決めるのか
どこまで開示できるのか
プロセスを整理する

【マネジメント】
会議を開く人

自分たちに関与
させる
（決めさせる）

PTA会議は学校の保護者の
総意を代表していない

説明、関わり方

事務局が
説明不足

反発、不安
自分が関与していない、
納得されていない

■ 2班 課題1 多様な主体の意見把握・反映

アンケート

保護者アンケート
保育所、幼稚園

これから自分の子どもが小学校
に入る人のような小さな子ども
のいる人に子育て支援センター
等でもアンケートが必要

アンケートを保育園、幼稚園、
こども園など円単位でとり、園の
中で意見交換、調査をした方
が本心が出やすい

地域アンケート
市民、自治会
等

子どもたちの意見クローム
ブックで選んでもらうように
した方が答えやすいと思う

課題解決

個々の問題の
フォロー
解決の是非

説明会

中学校区や
地域別の
ワークショップ

対話による
場所づくり

定期的な地
域別懇談会
進行状況の
内容等

発信の情報
開示

単位ごとに
開催

今後のモデルケース

結合が決まったら
すぐに学校間の
交流会等を行う
と良い

西小の廃校後の
使い方はモデル
ケースによる

ある程度の段階で
SNSや口伝えで
廃校時期を共有
(西小学校)

広く発信し、卒
業生等、学校訪
問などの時間を
作った方が良い

アンケートや説明
等の後？

■ 3班 課題1 多様な主体の意見把握・反映

中間報告

学校での
説明会

広報による
中間報告

保護者・子ども・教員との情報共有
(地域住民への状況共有)

SNS発信
・HP
・ライン
・フェイスブック
・メール

発信

あらかじめ、この
資料をすぐー
で流す

今の状況をすぐー
と網走広報などで
随時発信

すぐー活用

子どもへの説明&アンケート

クロームブック
でアンケート

しっかりした
事前説明

目に見える
比較資料

学校の授業の中で
聞いてみる
(クラス会など)

ワークショップ

ワークショップの
開催

学校だけに
任せない

ワークショップ
委員が見学
可能

ファシリテーター
補助

各校代表の話し合い

児童会・生徒会
に聞く

■ 4班 課題1 多様な主体の意見把握・反映

意見交換

保護者、地域住民の納得、説明は各学校区域で最初にするが良い

年代や立場別の話し合いの場づくり

保護者のワークショップ

細やかな意見交換

現状把握

満足度の把握

発信

教育委員会（市全体）がもっと足や耳を使って動いてほしい

情報発信は直接の説明会

常に情報を提供し、意見を受ける環境にできると良い

発信⇒受信

メリット・デメリット

前向きなメリット・デメリット・対策を広報誌等でしっかり伝える

意見はライン・メール等で

子どもたちの意見の把握

子どもたちにはPCでアンケート要望を取りまとめる（実際は保育園児が対象）

児童による「子ども会議」みたいな話し合いの場づくり

児童会・生徒会・サミット等の題材にしても良いのでは

子どもたちの意見は学校で子どもたちと一番近い担任が聞くと良い

■ 5班 課題1 多様な主体の意見把握・反映

意見交換

地域住民が
反対の場合は
存続

議論の順序を整理
(西小・財政・バス・教
育の質・子どもの負担)

再編を前提とし
た議論をしない

対象別

【保護者】
事前アンケート集計
オープンスクール時で
の意見交換を行う

【子ども】
地域の学習時間を作る
学校でグループ集約

発信

進み具合が
分かる説明

正しい
情報提供

平等な
情報提供
(再編事業費)

SNS
多様な意見
色々な視点

ひとつの心を
作っていくことを
イベント化

網走らしさ

「網走」で育つ
子どもの共通
する心や土台

「網走」で育つ
とは